

### 2017年9月東北大学大学院リーディングプログラム学生修了式（修了の挨拶追記：10月12日）

[ Topics ] 2017年09月28日

平成29年9月26日（火）、工学研究科中央棟中会議室に於いて東北大学大学院リーディングプログラム学生修了式が行われました。

グローバル安全学トップリーダー育成プログラムでは2名（1期生1名、2期生1名）が終了いたしました。

#### <修了の挨拶>

本日は私たち修了生のためにこのような盛大な式を挙げていただきまして、誠にありがとうございます。また、ご多忙のところ、プログラム担当の先生、専任教員の先生・御来賓の皆様のご臨席を賜りましたこと、修了生一同深く御礼申し上げます。

卒業の季節を迎えまして、私は、グローバル安全学トップリーダー育成プログラムでの日々を振り返ってみると、この三年半は充実かつ貴重な経験だと、深く感じております。リーディングプログラムの授業、自主企画活動、インターンシップなどの実践を通じて、自分の専門知識だけではなく、リーダーシップ・目標設定能力・俯瞰力等の様々な能力を伸ばすことが出来ました。さらに重要なのは、本プログラムを通じて、優秀なる院生諸君と知り合いになれたことです。院生のみなさんは日本および世界各国からやってきた、各分野の未来のリーダーを目指す逸材です。みなさんと議論・協力・競争を行うなかで、そのまじめな態度、全力を尽くすチームワーク、丁寧な対応が私にとって一番印象深いです。こういった素質は知らないうちに、自分に影響をあたえていて、これらの影響はまさに知識の伝授より人の未来を助けるだろうと思っています。

私から見ると、こういった素質はリーダーに対して、専門能力や他の様々な必要な能力と同様に、必要不可欠なものです。リーディングプログラムが求める人材の持つべき各種能力のなかで、たとえば、リーダーシップ・コミュニケーション能力・国際性などは、社会的能力です。つまり、個々人に適応な能力を持たせることだけではなく、チームメンバーの信頼性及び影響力を得なければ、リーダーになれないわけです。良好なチームワークの構築というのは、上述のまじめさ、全力を尽くすこと、丁寧さといった素質にあり、言い換えれば、グローバルリーダーが持つべき人間力とも言えるでしょう。こういった素質の向上は、自分の専門知識・能力以外に、リーディングプログラムでいただいた一番大切なものだと思っています。

今後、一番重要なのは、過去三年半で身に付けてきた知識と能力を、実践することです。グローバルリーダーとして持つべき人間力を磨いていき、グローバルリーダーということに対してもますます理解を深めて、そのなかで絶えずに真のグローバルリーダーに近づいていきます。それと同時に、一留学生として、今の時代では、国際交流や共同研究の重要性は強く感じております。中国の大学で就職した後、本プログラム及び各先生方と常に連絡をとり、できる限りリーディングプログラムのために貢献したいと思っています。

最後になりますが、トップリーダープログラムの管理・維持にご尽力くださり、私たちに貴重な学びの機会を与えてくださったプログラム担当の先生方、至らない私たちをご指導・ご配慮くださいました専任教員の先生方、学生生活をご支援くださいました職員の方々、およびこの三年半、ともに過ごし、ともに切磋琢磨し、助けていただき、それを通じていい思い出を残してきた学生諸君に心からの御礼を申し上げます。リーディングプログラムの発展をお祈り申し上げ、あいさつとさせていただきます。

平成29年9月26日

グローバス安全学トップリーダー育成プログラム二期生 ハオ リンフェイ

[大学記事へリンク](#)

# 東北大学大学院リーディングプログラム学生修了式を開催

2017年9月27日 15:40 | ニュース

平成29年9月26日（火）11時15分から、工学研究科中央棟中会議室に於いて東北大学大学院リーディングプログラム学生修了式が行われました。

本プログラムは、優秀な学生を俯瞰力と独創性を備え広く産官学にわたりグローバルに活躍するリーダーに養成しようとする趣旨のもと、本学では平成24年度より新たに教育が開始されたもので、5年目となる今年度は、グローバル安全学トップリーダー育成プログラムでは2期生となる2名が、マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラムでは初めての修了生1名が社会に飛び立ちました。

式では、学生・教職員ら約50名が出席する中、修了生の門出にあたり、学位プログラム推進機構長の花輪公雄理事からの祝辞があり、その後、修了生のハオ リンフェイさん（グローバル安全学トップリーダー育成プログラム）及び岡田 篤さん（マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム）の2名から、プログラム担当の先生方や職員の方々への謝辞とともに、今後はプログラムで身に付けたことを活かし活躍していきたい等の挨拶がありました。



グローバル安全学トップリーダー育成プログラム



マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム

## 問い合わせ先

東北大学学位プログラム推進機構事務局リーディング担当  
(教育・学生支援部教務課)

TEL : 022-795-4946

E-mail : kyom-lgs\*grp.tohoku.ac.jp (\*を@に置き換えてください)